

作成日2010年12月30日
改訂日

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名	DCBN
会社名	保土谷UPL株式会社
住所	〒103-0027 東京都中央区日本橋三丁目14番5号
担当部門	営業部
電話番号	03-6225-3194
緊急連絡電話番号	03-6225-3194
FAX番号	03-6225-3197
メールアドレス	hodogayaupl@hodogaya-upl.com

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

可燃性固体	区分外
自然発火性固体	区分外
自己発熱性化学品	区分外
金属腐食性物質	分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分4
急性毒性(経皮)	区分4
急性毒性(吸入:ミスト)	区分外
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	区分外
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性(単回暴露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復暴露)	分類できない

環境に対する有害性

水生環境急性有害性	区分3
水生環境慢性有害性	分類できない

GHSラベル要素 シンボル



注意喚起語 危険有害性情報

警告
H302 飲み込むと有害
H312 皮膚に接触すると有害
H402 水生生物に有害

注意書き 安全対策

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
適切な保護手袋、保護衣を着用すること。(P280)

環境への放出を避けること。(P273)

救急措置
飲み込んだ場合、口をすすぐこと。(P330)
飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P301+P312)
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。(P302+P352)
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。(P363)
気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P312)

廃棄
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別
一般名

単一製品
2,6-ジクロロオヘンズアミド

成分	濃度又は濃度範囲	官報公示整理番号		CAS番号
		化審法	安衛法	
2,6-ジクロロオヘンズアミド	>=98 %	(2)-2991	4-(7)-459	1918-13-4
その他成分	<=2 %			

4. 応急措置

吸入した場合
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合
多量の水と石鹼で洗うこと。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

目に入った場合
目の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合
直ちに医師に連絡すること。
口をすすぐこと。

5. 火災時の措置

消火剤
大量の水、二酸化炭素、粉末消火剤、土

特有の消火方法
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
容器が熱に晒されているときは、移さない。
火を封じ込み燃焼させる。消火が必要であれば、注水又は水噴霧が推奨される。

消火を行う者の保護
蒸気に接触、吸入しないように保護衣、化学用ゴーグル、防毒マスクを着用して消火する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
関係者以外の立入りを禁止する。
風上に留まる。
作業者は適切な保護具(『8. 暴露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
低地から離れる。

適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけません。
密閉された場所は換気する。

環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。
本製品は、水汚染物なので土壌汚染、もしくは排水溝及び排水系及び大量の水に流入することを防止する。

回収・中和

物質を吸込み又は掃き取って廃棄用容器に入れること。
不活性材料(例えば、乾燥砂又は土等)で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。
掬い取るか、適切な吸収材によって水表面から除去する。分散剤を使用してはならない。

封じ込め及び浄化方法・機材

物質を固化して掻き取る。
本製品は水に浮かぶため火災の危険がある。可能ならば、浮いている製品を封じ込めるよう努める。
除去後、汚染現場を水で完全に洗浄する。
蒸気は水噴霧で制御できる。液体が蒸発して更に多くの蒸気を発生させるため、水流はその液体の方に向けないほうがよい。
水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。

二次災害の防止策

すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。
滑らかな滑りやすい表面を床上に形成するので、完全に取除くこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
	局所排気・全体換気	『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
	安全取扱い注意事項	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 飲み込みを避けること。 皮膚との接触を避けること。 粉じん、ヒュームの吸入を避けること。
	接触回避	『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管	混触危険物質	『10. 安定性及び反応性』を参照。
	保管条件	火源の近くに保管しない。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策		取扱いについては全体換気装置を設置した場所で行う。 特別な換気要求事項はない。 本製品を貯蔵又は使用する設備は、眼洗浄施設及び安全シャワーを設置したほうがよい。
保護具	呼吸器の保護具	ほとんどの条件で呼吸保護は必要ない。しかし、埃っぽい雰囲気では認可ダスト呼吸器を使用する。

	手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
	眼の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。
	皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。
衛生対策		この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	形状	粉末		
	色	黄みの白		
	臭い	刺激臭		
融点		150.6～152.1℃		
沸点、初留点及び沸騰範囲		270℃で分解		
溶解度		水溶解度1.05g/l(25℃)		
蒸気圧		2.2 × 10 ⁻⁵ Pa	温度	25℃
溶解性		メタノール129g/L、アセトン326g/L、キシレン18.6g/L		
オクタノール／水分配係数		1.77	区分	実測値
分解温度		270℃		

10. 安定性及び反応性

安定性	(熱): 安定(150℃以下)
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	火気
危険有害な分解生成物	高熱あるいは燃焼により一酸化炭素、塩化水素、硫酸化物などの有害ガスが発生する。

11. 有害性情報

経口 経口(根拠)	LD50	マウス♀	510mg/kg
	製品の急性毒性推定値が ^g 510mg/kgのため 急性毒性(経口)－区分4とした。		
経皮 経皮(根拠)	LD50	ラット	♂♀>2000mg/kg
	製品の急性毒性推定値が ^g >2000mg/kgのため 急性毒性(経皮)－区分4とした。		
吸入:ミスト 吸入:ミスト(根拠)	LD50	ラット	>5000mg/m3
	製品の急性毒性推定値が ^g >5000mg/Lのため 急性毒性(吸入:ミスト)－区分外とした。		
皮膚腐食性/刺激性(根拠)	3%粒剤では、(皮膚一次刺激性)ウサギ 刺激性なし DCBN原体でのデータが不足のため、 皮膚腐食性/刺激性－分類できないとした。		
眼に対する重篤な損傷/刺激性(根拠)	3%粒剤では、(眼粘膜一次刺激性)ウサギ 軽微な刺激性あり DCBN原体でのデータが不足のため、 眼に対する重篤な損傷性/刺激性－分類できないとした。		

皮膚感作性(根拠)	皮膚感作性(GPM法)モルモット 48時間観察した結果、陰性であった。 皮膚感作性一区分外とした。
生殖細胞変異原性(根拠)	(微生物):Ames Test 陰性 (染色体異常):陰性 のため 生殖細胞変異原性一区分外とした。
発がん性(根拠)	DCBN原体として、データが不足しているため、 発がん性一分類できないとした。
生殖毒性(根拠)	ラットを用いた繁殖毒性試験(3世代)で、最大無作用量 3mg/kg/日であった。 DCBN原体として、データが不足しているため、 生殖毒性一分類できないとした。
特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露) (根拠)	データなし 特定標的臓器毒性(単回暴露)一分類できないとした。
特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露) (根拠)	データなし 特定標的臓器毒性(反復暴露)一分類できないとした。

12. 環境影響情報

環境に対する有害性

水生環境急性有害性	藻類(緑藻)のErC50(0-72hr) = 17mg/Lより、 水生環境急性有害性一区分3とした。
水生環境慢性有害性	データ不足のため 水生環境慢性有害性一分類できないとした。

生態毒性

魚毒性/その他	LC50	コイ	42mg/L(96hr)
環境影響その他	EC50	オオミジンコ	56mg/L(48hr)

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制	海上規制情報 UN No.	情報なし
	航空規制情報 UN No.	情報なし
国内規制	海上規制情報	該当しない

国連番号
航空規制情報
国連番号

該当しない

15. 適用法令

農薬取締法

16. その他の情報

参考文献

日本ケミカルデータベース(株)「化学品総合データベース」

その他

記載内容は、現時点で当社が入手した資料・データ等に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。